

国際シンポジウム「中国における都市化の進展と環境問題」

主催：総合地球環境学研究所中国環境問題研究拠点

復旦大学歴史地理研究中心

後援：在上海日本総領事館

趣旨：中国では、北京、上海といった巨大都市だけでなく、地方の中核都市においても人口の集中と都市化が進展し、それにとまらぬ環境問題が顕在化している。一方で農村地域は都市との経済的な格差が拡大し、環境のみならずさまざまな矛盾が噴出している。本シンポジウムでは、都市・農村の問題群の関わりを含め、その背景となる政策や制度的な面を合わせて考察する。

会場：復旦大学光華楼東輔楼 0101 室（上海市邯鄲路 220 号）

開催日時：2009 年 11 月 2 日 8 時半～17 時半

8:30-9:00 オープニング

挨拶（中国側）： （復旦大学役員）

（中国側）：満志敏（復旦大学歴史地理研究中心・主任）

（日本側）：立本成文（総合地球環境学研究所・所長）

9:00-10:20

第一部 都市の拡大に伴う文化の変容（司会：満志敏（復旦大学歴史地理研究中心））

「都市の多様性—その生成の仕組みと保全」村松伸（総合地球環境学研究所）

「都市化と近代上海における生態景観の変遷」張曉虹（復旦大学歴史地理研究中心）

コメント 小長谷有紀（国立民族学博物館）

コメント 王建革（復旦大学歴史地理研究中心）

10:30-11:50

第二部 農村から都市への人の流動が起こす都市・農村の環境問題（司会：川端善一郎（総合地球環境学研究所））

「流入人口の要素を関連させた都市近郊農村の水域汚染研究」張真（復旦大学城市環境管理中心）

「都市環境と外来人口増加の「厄介な関係」—天津都市調査（2004-09 年）の知見から—」園田茂人（東京大学東洋文化研究所）

コメント 安介生（復旦大学歴史地理研究中心）

コメント 秋道智彌（総合地球環境学研究所）

13:30-14:50

第三部 都市の歴史（司会：王振忠（復旦大学歴史地理研究中心））

「2つの都城思想とその展開—インド世界と中国世界」応地利明（京都大学名誉教授）

「太湖平原の地方都市の発達と環境変遷（1840～1936）」馮賢亮（復旦大学歴史系）

コメント 阿部健一（総合地球環境学研究所）

コメント 楊偉兵（復旦大学歴史地理研究中心）

15:00-16:20

第四部 生活様式の変化と都市環境（司会：窪田順平（総合地球環境学研究所））

「都市化と都市問題—近代における上海を例に」戴鞍鋼（復旦大学歴史系）

「日本の都市化とリサイクルの歴史—屎尿処理問題を例として」市川智生（上海交通大学歴史系）

コメント 李曉傑（復旦大学歴史地理研究中心）

コメント 蔡国喜（総合地球環境学研究所）

16:30-17:30

総合討論（座長：呉松弟（復旦大学歴史地理研究中心）、中尾正義（人間文化研究機構））

17:30 クロージング

言語：日本語と中国語（同時通訳）